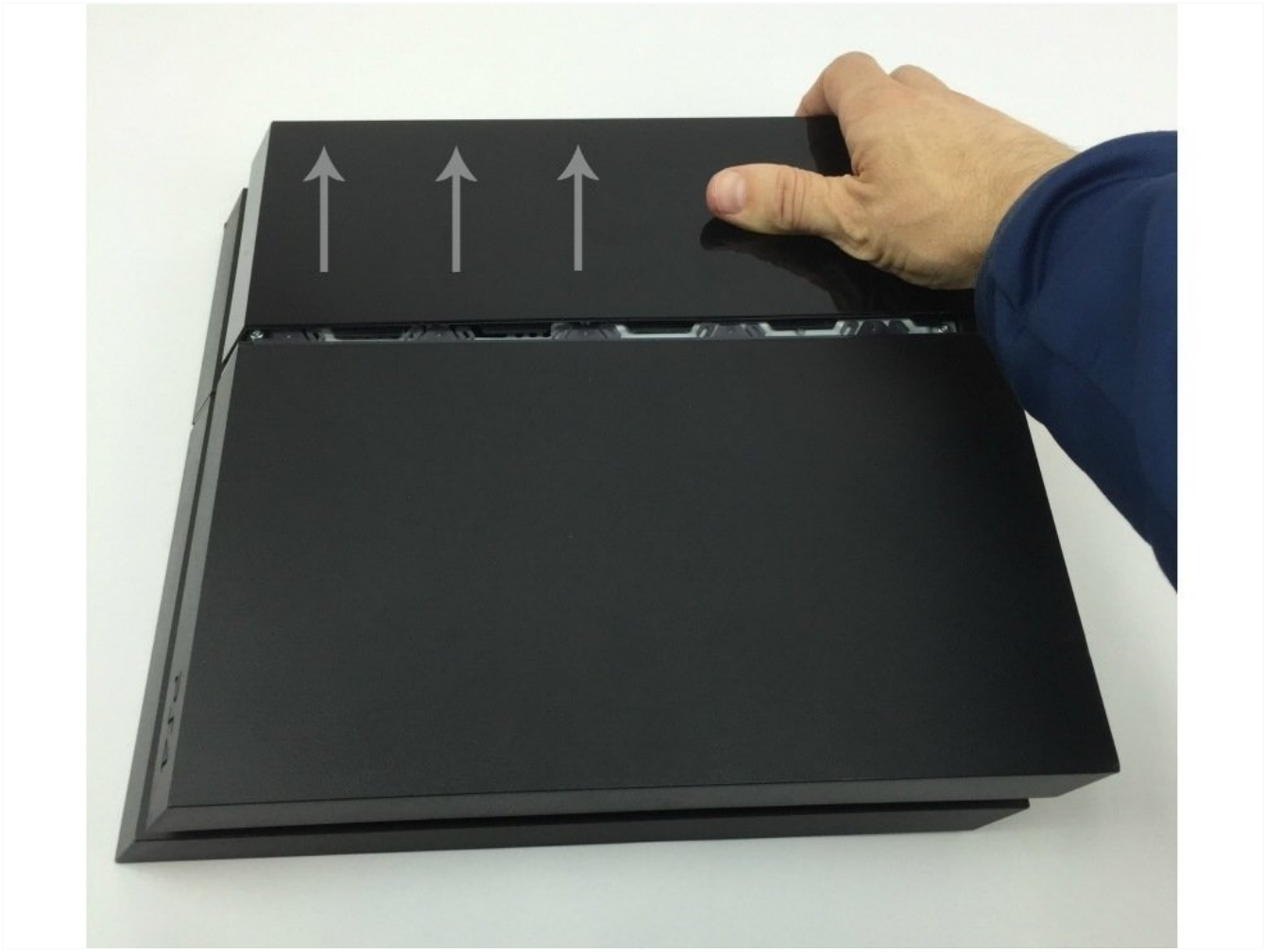
Play Station 4の電源がついてすぐ消える問題を解決する

ほとんどの人が何の問題もなくかなりシンプルに修理できます。...

作成者: TronicsFix



はじめに

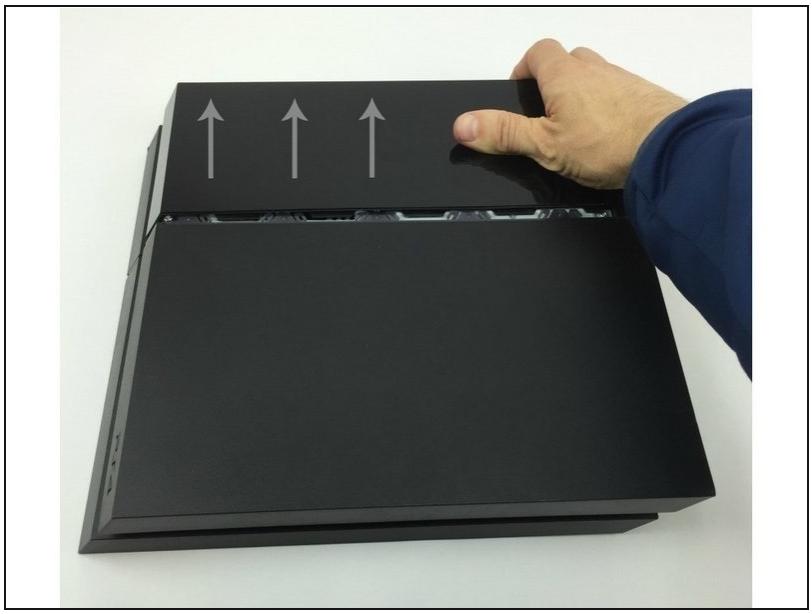
ほとんどの人が何の問題もなくかなりシンプルに修理できます。

※このガイドを使うのは自己責任の基で行ってください。TronicsFixは一切の責任を負いかねます。このガイドを使って起きる可能性がある、どんな損害に対しても責任は持ちません。

ツール:

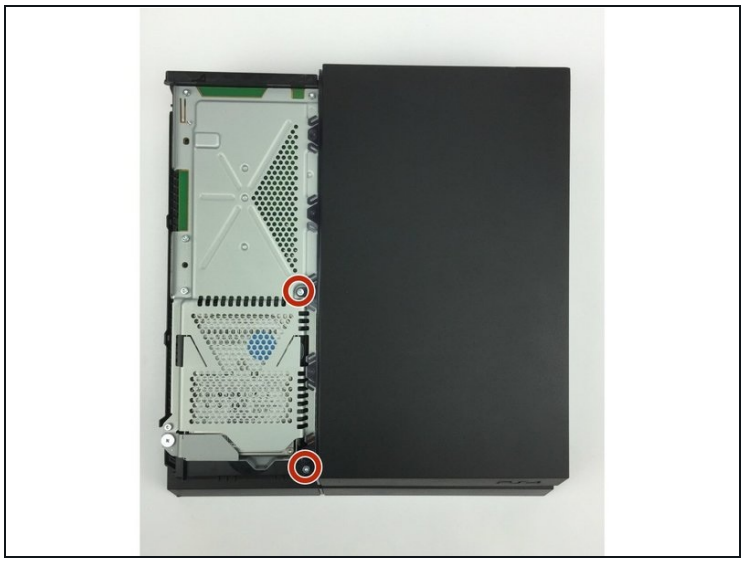
T8トルクスネジ用ドライバー (1)
#1 プラスネジ用ドライバー (1)

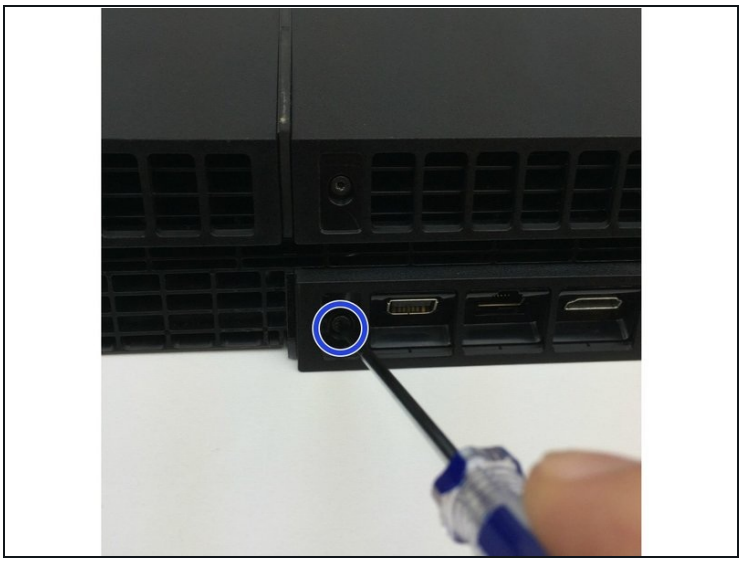
手順 1 — ハードドライブからプラグを抜いて外します。



- PS4をすべてのケーブルから接続を外します。
- ハードドライブのカバーを外してください。

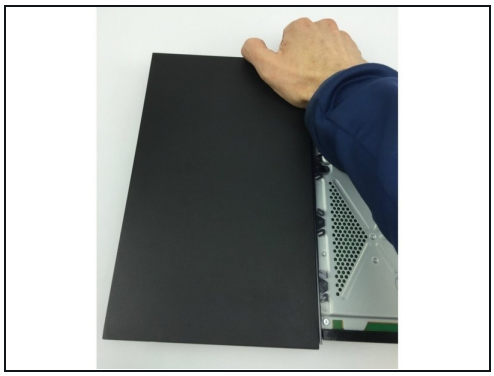
手順 2 — トップカバーのねじを外します



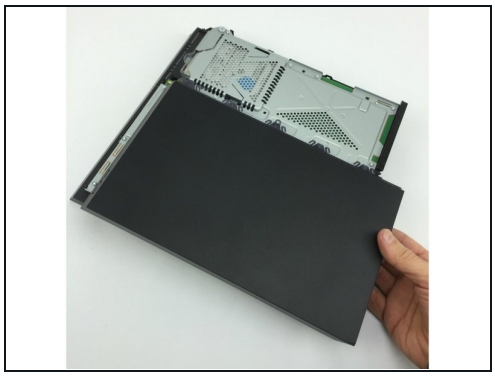


- トップカバーから、2本のT8トルクスねじを取り外します。
- 保証ステッカー（まだ剥がしていない場合）を剥がし、T8トルクスドライバーを使用して、トップケースの黒いねじを取り外します。

手順 3 — トップカバーを外します

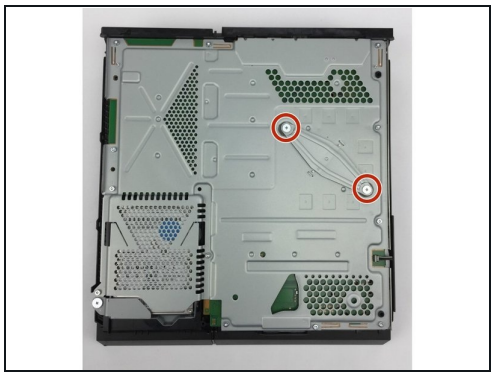






- トップカバーの右前端を引き上げます。
- 右前端が緩んだら、左前端を引き上げます。
- トップカバーを手前に引き、脇に置きます。

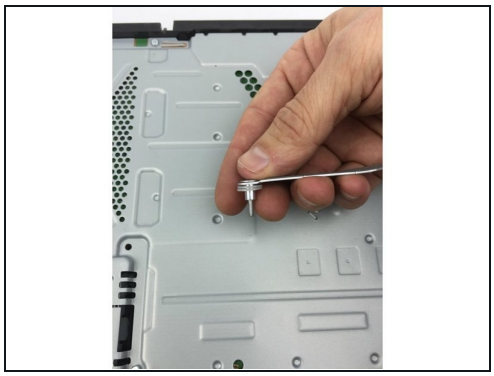
手順 4 — APU/ヒートシンクねじを外します

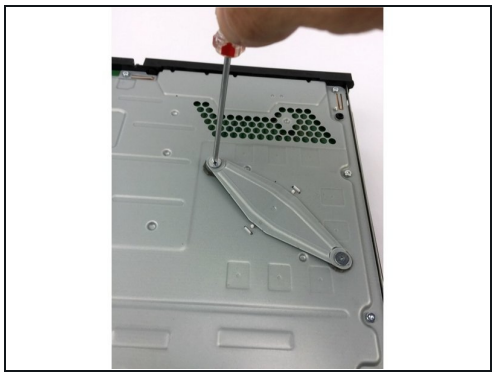




- PH1プラスドライバーを使用して、APU/ヒートシンクの2本のねじを取り外します。

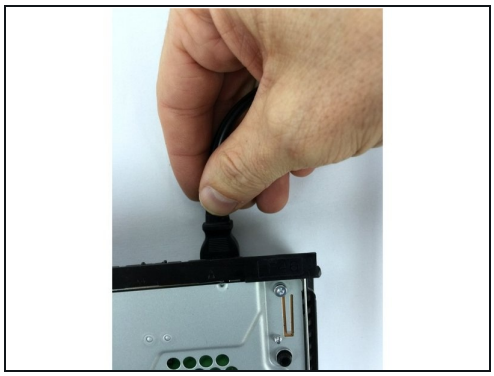
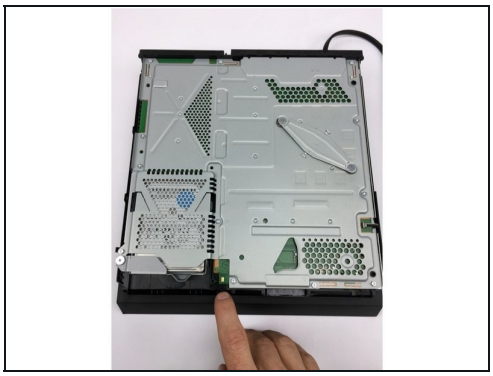
手順 5 — ワッシャーのインストール





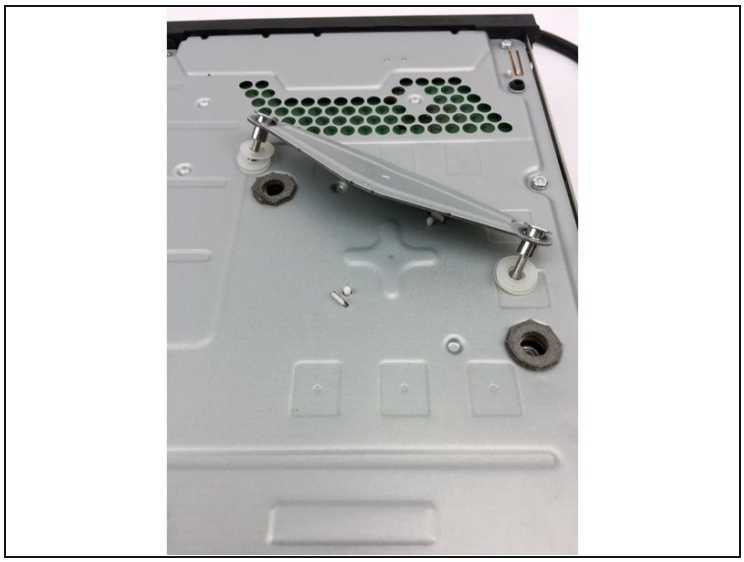
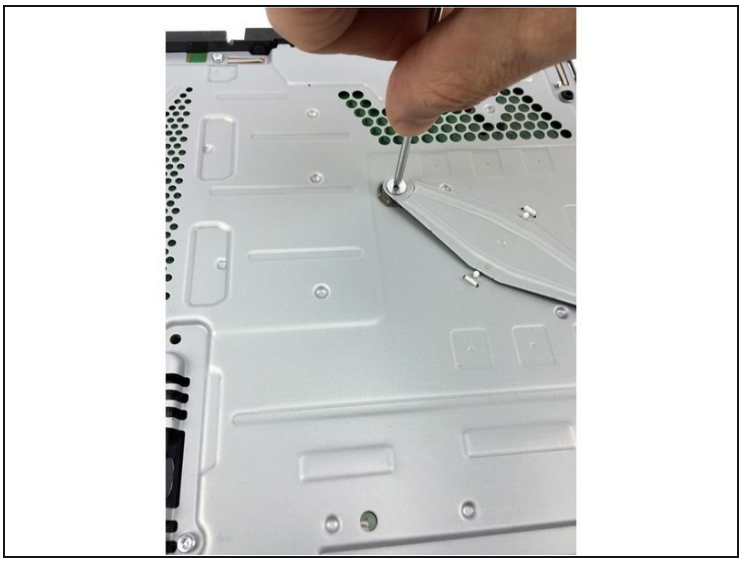
- まず2つのワッシャーをそれぞれのねじの下に取り付けます。
- クランプとねじを取り付け、ねじを締め付けます。

手順 6 — PS4をプラグインして電源をオンにします


- 電源コードをPS4に差し込みます。
- PS4の銅パッドに触れて、電源をオンにします。
- PS4の電源がオンのままで安定したら、修理が成功したものと考えてください。安定しない場合は、次の手順に進みます。

手順 7 — 各ねじの下に3つ目のワッシャーを取り付けます

- 2つのワッシャーを取り付けても、PS4がうまく動作しない場合は、ヒートシンクのクランプを取り外し、それぞれのヒートシンククランプのねじの下に、3つ目のワッシャーを取り付けます。

手順 8 — コンソールの電源を入れます





- 3つ目のワッシャーを取り付け、ねじを締め付けたら、マザーボードの電源パッドに触れます。

- PS4から全くノイズが発生せず、ライトも点灯しなければ、ねじを強く締め付けすぎているので、ほんの少し（1/8回転）ねじを緩めて、再度電源をオンにしてみましょう。本体の電源がオンになるまでこの手順を実行します。

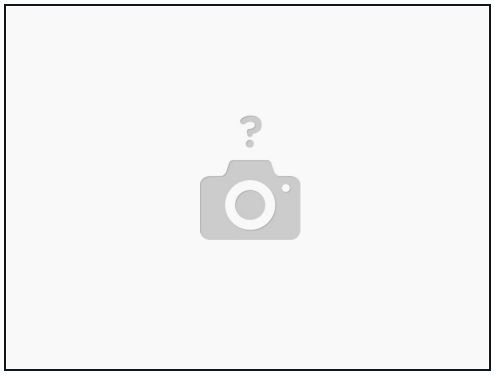
- 上記の手順を実行しても、まだ本体の電源がオンからオフになる場合、残念ながらこの修理方法では、あなたのPS4は修復できません。

手順 9 — その他の支障がある場合



- 正常に動作していた後に、お使いのPS4の電源がオンにならない（またはオンになってもオフに戻る）場合は、カバーを取り外して、プレートのねじを締め付けてみてください。ねじを締め付けが強すぎるとPS4は全く動作しません。システムの電源がオンになるまで、わずかに緩めます。本体のプラグを差し込んだままの場合は注意してください。可能ではありますが、お勧めできません。

手順 10 — 見落としがちな問題



- カバー全体をPS4から取り外している状態で、正常に動作している場合は、必ずカバーを元の場所に取り付けてください。このカバーは、ファンからのエアフローを分配して、システムを冷却するように設計されています。これにより、オーバーヒートが発生すると、自動で電源がオフになります。

デバイスを組み立て直すには、これらの手順と逆の順序に従ってください。